

基本方針

副理事長 片倉 隆幸

私たちが幼い頃は、家族や友人、そして近隣住民などでの近所付き合いが存在し、繋がり
の和を通して日々生活してきました。しかし、昨今は複合家族の減少や少年と青年を取り巻く
環境の変化など、人と人との関わりが希薄化しております。私たちは周囲の人との繋がりか
ら生まれる助け合いやおもいやりの精神を見つめ直し、地域の次代を担う少年と青年が未
来を見据え、共に歩幅を合わせ歩み、郷土愛と利他の精神を育む機会が必要です。

まずは、私たち青年が人と人との繋がりにより生かされている原点を今一度認識し、少年と
青年とが互いの視点から礼儀礼節や人をおもいやる心を育むことで、少年と共に人との繋
がりや地域社会との関わりを通した利他の精神を身に着ける運動を行います。私たちがこ
れまで肌で感じてきた誇るべき地域を、あらゆる手法を用い未来を担う少年に伝えること
で、成長期である少年は新たな価値観を持つことができ、強くしなやかな人財へと成長しま
す。そして、利他の精神を宿し地域の模範となる行動や地域を動かす行動は、同世代への伝
播だけでなく、少年から青年へ、さらには青年からその次の世代へと世代間を通した伝播に
繋がり、郷土愛を育む運動として引き継がれます。また、少年から繋がる精神文化の好循環
を認め褒め称えることは少年の成長の糧となり、地域の発展と笑顔溢れる人財育成を支え
る事に繋がります。青少年も一人ひとりが輝けるまちの未来を信じ行動することは、誰より
も一歩先の未来を見据えた、歴史や文化の振り返りと郷土愛に満ちた青少年を育成する運
動となり、強さと優しさ身につける運動として、幅広く展開して参ります。

人との繋がりを少年から青年への繋がりとして見つめ直すことは、郷土愛を醸成します。
次代を担うリーダーを育成することで、地域に誇りを持ち未来を築くことに繋がり、当事
者意識を育み、皆が笑顔に満ち溢れ誰もが夢を描ける明るい寒河江西村山を創造します。